

# 神奈川リフレッシュプログラム サポートのお願い！

あの3.11から5年が経過し、福島・楡葉の子どもたちを神奈川に招く「こらっせ」の活動もおかげさまで5年目を迎えることになりました。この間、「こらっせ」の活動は文科省交渉、「楡葉グッズ」販売、「こらっせユース」(大学生)による楡葉の学童保育応援などに広がりました。

昨年9月、楡葉町は全町避難が解除され帰還をスタートさせましたが、問題が山積していることはマスメディアを通じてみなさまよくご存知だと思います。楡葉っ子の状況も大きく変化し、楡葉小・中学校に通学する子どもたちの数も減少しています。そこで、今年は福島現地の団体・「福島子どもたちを守る保養プロジェクト」と「避難者の会・神奈川サポーターズ」の協賛をえて、楡葉のみならずいわき周辺子どもたち、神奈川に避難している子どもたちへと募集対象を拡大します。

今年も、丹沢湖畔でのBBQ、キャンプファイヤー、中川での川遊びと自然豊かな山北町で過ごし、最終日は横浜散策をする「神奈川リフレッシュプログラム」を実施します。

このプログラムへのご賛同とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

- 主催** 福島子ども・こらっせ神奈川
- 日程** 2016年8月3日(水)～5日(金)
- 参加対象** 楡葉町・いわき周辺子どもたち+神奈川在住の避難者  
小学生(3年生から)と中学生 30人
- 場所** 丹沢湖口ツチ+丹沢荘(山北町中川温泉)
- 協賛** 福島子どもたちを守る保養プロジェクト  
避難者の会・神奈川サポーターズ
- 後援** 楡葉町 楡葉町教育委員会 山北町  
山北町教育委員会  
神奈川県 神奈川県教育委員会  
(財)神奈川県高等学校教育会館

## あなたも賛同人になってください！

賛同金 個人一口3,000円 団体一口10,000円

ご賛同いただける方は、振込用紙に住所・電話番号・メールアドレスの記載をお願いいたします。報告書、ニュースレター、各種案内をお送りします。カンパも歓迎です。

振込先 郵便振替 口座名称 福島子ども・こらっせ神奈川  
口座番号 00270-7-101155

問い合わせ：福島子ども・こらっせ神奈川

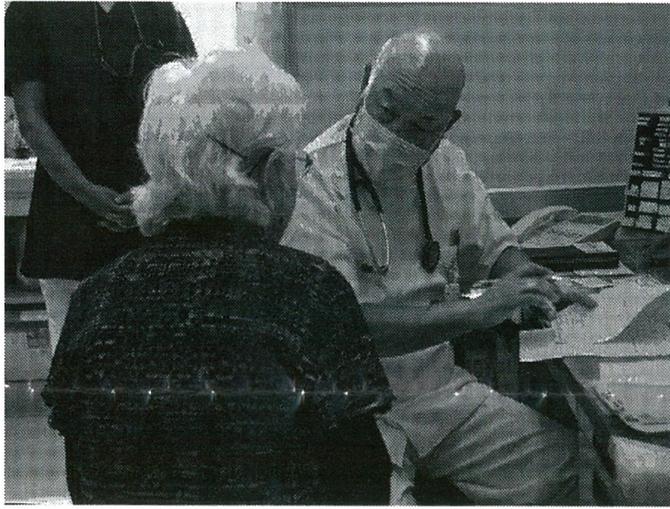
TEL:045-353-9008 FAX:045-353-9998 E-mail: info@korasse-kanagawa.org

# 避難指示解除1カ月

# 楢葉 再生の足音

福島県楢葉町で、東京電力福島第1原子力発電所事故による避難指示が解除されて5日で1カ月。学校や商業施設など社会基盤の整備の遅れや除染への不安から帰還した町民は一部にとどまるが、診療所などが再開し、町は再生に向けて動き始めた。多くの町民が帰還し、福島復興の「モデル」になるには今後も国などによる息の長い支援が求められる。

## 帰還者、診療所など再開



楢葉町で診療所を再開した土岐さん（1日）



「最近、心臓が痛くて眠れなくてね。待ちわびてました」。今月1日、楢葉町で約4年半ぶりに再開した内科診療所「ときクリニック」。院長の土岐高久さん（62）は診察した町民に「ありがとっ、頑張ります」と笑顔で応じた。診療所に来た小山ハナさん（90）は、これまでは隣の広野町の病院に家族の車で送迎してもらっていたという。「よく知っていた先生には小さな不安でも相談しやすいし、家族にあまり負担をかけずに済む」と喜ぶ。土岐さんは2002年に広野町で開業したが、2年後に医療機関の少な

かった楢葉町から請わられた」と意気込む。来りた。原発事故により、埼玉県や茨城県での避難生活を余儀なくされたが、「いつの日か再開したい」との思いは変わらない。日中は滞在できる楢葉町に通い、国や県の補助を受けて建物や修理し、医療機器を整備した。今年4月に夜間も滞在できる準備宿泊が始まり、「帰還者の不安を和らげるには医療が不可欠だ」と再開を決意し、7月から町に戻った。協賛利光さん（67）は、町民の声にこたえるため9月末に戻った。3代目の脇沢さんは子供のころから配達を手伝う。配達先にも異変があれば気づきやすい。帰還者の多くは高齢で孤独死の可能性もある。自分がその防止に一役買いたい」と話す。

りた。来りた。原発事故により、埼玉県や茨城県での避難生活を余儀なくされたが、「いつの日か再開したい」との思いは変わらない。日中は滞在できる楢葉町に通い、国や県の補助を受けて建物や修理し、医療機器を整備した。今年4月に夜間も滞在できる準備宿泊が始まり、「帰還者の不安を和らげるには医療が不可欠だ」と再開を決意し、7月から町に戻った。協賛利光さん（67）は、町民の声にこたえるため9月末に戻った。3代目の脇沢さんは子供のころから配達を手伝う。配達先にも異変があれば気づきやすい。帰還者の多くは高齢で孤独死の可能性もある。自分がその防止に一役買いたい」と話す。

「最近、心臓が痛くて眠れなくてね。待ちわびてました」。今月1日、楢葉町で約4年半ぶりに再開した内科診療所「ときクリニック」。院長の土岐高久さん（62）は診察した町民に「ありがとっ、頑張ります」と笑顔で応じた。診療所に来た小山ハナさん（90）は、これまでは隣の広野町の病院に家族の車で送迎してもらっていたという。「よく知っていた先生には小さな不安でも相談しやすいし、家族にあまり負担をかけずに済む」と喜ぶ。土岐さんは2002年に広野町で開業したが、2年後に医療機関の少な

## 楢葉町帰還は5.3% 避難指示解除3カ月で調査

東京電力福島第1原子力発電所事故に伴う避難指示が9月5日に解除された福島県楢葉町は、解除後3カ月の町民の帰還状況をまとめた。12月4日現在、帰還者は388人（235世帯）で、全町民7363人の5.3%にとどまった。年代別内訳は60代が129人で最多。次いで70代97人、50代79人、80歳以上45人、40代22人と続き、60歳以上が計271人。調査は、各世帯が提出した居住確認票を基に、町職員が巡回するなどして自宅に週4日以上滞在する人数を集計した。